

図書館からのお知らせ

*本であそぼ 企画
「ちくちくクラブ」参加者募集

今回は、羊毛作家の横尾あづささんをお招きし、羊毛をちくちく刺してモビールを作ります。おしゃべりを楽しみながら、すてきな飾りを作ってみませんか？

期 日：2月22日(土)
午前10時～12時

場 所：トレーニングセンター
めばえの部屋

材料費：300円
定 員：15名
(定員になり次第締め切ります)
申 込：山形村図書館 ☎98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK NO.45

編集＝山形村図書館

「安全なお米とお味噌で健康に」
熱心に耳を傾けました

冬らしく冷え込んだ12月8日(日)、トレーニングセンターふるさと大ホールにて、図書館講座「安全なお米とお味噌で健康に」を行いました。村内外の23人が耳を傾けました。

講師は、高山村で不耕起稲作を実践する園原久仁彦さんです。

「自然耕塾@高山村」の代表を務め、農薬も除草剤も使わずに米を育てています。安心な土から育つ米は健康そのもの。その米からできるこうじ

を使った味噌もまたしかり。

わたしは、ちは日々、さまざまに食品を口にしますが、



食の安全には多くの人が関心を持っていきます。毎日口にする日本人の基本食「米」と「味噌」が安心して食べられれば心強いですね。講演後は、不耕起稲作に適したイネの育て方や、冬の水の張り方など、実際に稲作をしている皆さんから多くの質問が挙がりました。持続可能な米作りを目指して、村内でも実践が始まっているようです。

私のこの一冊

図書館利用者 小林好子

『長くつ下のピッピ』

リンドグリーン (岩波書店)

もしもあなたの隣に住んでいる女の子が、馬を持ち上げてしまったり力持ちだったら？そして「勉強しなさい」とか「早く寝なさい」とか言ううるさい大人もいなくて、自由に暮らしていたら？長くつ下を履いたピッピはそんな女の子。



小学生の私はピッピにあこがれ、ピッピの空想の世界や冒険にワクワクしながら何度も物語を読み返し、自分もピッピになった気分でした。
みなさんもぜひ一度ピッピに出会ってみてください。楽しい世界が待っていますよ！

おすすめ新着本紹介

『手で食べる？』

森枝 卓士(福音館書店)

フォークとナイフを使ったり、おはしとスプーンで食べたり、手を使ったり、世界のさまざまな食べ方を知る写真絵本。



『いいね!』

筒井 ともみ(あすなる書房)

「眠れない」とか、「会えない」とか、「一見いやなこと、ダメなこと」に思えるけど、見かたを変えたらとってもいいことに思えてきた！子どもにも、世の価値観をひっくり返す楽しい生き方を伝えます。



『あたまをつかった小さなおばさん』 第2弾・第3弾

ホープニエウエル(福音館書店)

日々の暮らしの困りごとを、頭を使って上手に切り抜けてきたおばあさんのお話、第2・3弾。



『まちかど保健室によつこそ』

白澤 章子(かもがわ出版)

長野県内で養護教諭を勤め続けた著者が、退職後に「川中島の保健室」を開きました。からだ、



こころ、性のこと……。だれもが、安心して話せる場になっています。『ほんのちよつと当事者』

青山 ゆみこ (ミシマ社)

新聞の見出しとなるような「大文字の困りごと」を「自分ごと」として考えてみませんか？めぐりめぐって、誰かが自分の助けになつてくれることもあるかもしれませぬ。そんなふくよかな社会を願う、社会派エッセイです。



『日本のスミレ探訪』

山田 隆彦 (太郎次郎社エディタス)

スミレ研究の第一人者が半世紀をかけて出会ってきた花を、エピソードとともに紹介します。内城葉子によるボタニカルアートもお楽しみください。



『大名倒産』上・下

浅田 次郎(文藝春秋)

思いがけず家督を継いだ若殿小四郎は、藩に大借金があることを知ります。大名倒産をもちろむ先代と、倒産阻止を決意する若殿の対決は、貧乏神や七福神も巻き込んで……。はてさて藩の運命やいかに？

